

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	ワルファリンの抗凝固能に及ぼす抗菌薬の影響の評価
研究責任者	浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 部長・教授 川上・純一
研究機関名	浜松医科大学医学部附属病院
研究目的と意義	一部の抗菌薬の併用によりワルファリンの抗凝固能が増強することが報告されている。実臨床においても、抗菌薬併用後に、ワルファリンの抗凝固能が増強され、出血リスクが高まることによる入院や入院の延長を余儀なくされる事例が多数ある。抗菌薬による抗凝固能増強の機序として、腸内細菌叢の変化に伴うビタミンK産生の抑制や薬物代謝酵素の阻害・タンパク結合率の変化が挙げられる。しかしながら、その機序の違いが抗凝固能に及ぼす影響の大きさは比較されていない。これらの検証はワルファリン服用患者における適切な抗菌薬の選択に繋がることが考えられ、臨床において非常に重要である。
研究期間	西暦 2014 年 9 月（倫理委員会承認後）～2019 年 8 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 1996 年 1 月から 2014 年 8 月に浜松医科大学医学部附属病院を受診したすべての患者を対象とする。</p> <p>●研究に使用する試料： 診療情報：1 組</p> <p>●研究方法 すべて過去の診療データをレトロスペクティブに検討する。</p> <p>① ワルファリン投与患者の検索 DB を用いた検索を行う。除外基準は、CYP2C9 を誘導または阻害する薬剤を期間内に併用開始した患者または中止した患者とする。また、抗菌薬併用開始、5 日から 28 日以内にワルファリンの投与が中止または用量変更が行われた患者に関しても除外する。</p> <p>② 抗菌薬併用患者の検索および抗凝固能への影響の評価 期間内に院内で使用されたすべての抗菌薬をワルファリンの抗凝固能に影響を及ぼす可能性のある機序ごとに分類する。①で抽出した患者集団から DB を用いて、機序の違いによる分類ごとに患者を振り分ける。それぞれの群間での抗菌薬併用前後での抗凝固能へ影響を比較する。また、抗菌薬非併用群を設け、コントロール群とする。</p>

	<p>③ ②にて分類した群内での抗凝固能の個体間変動要因の解析 それぞれの群内における抗凝固能の個人間変動要因を検索するため、DB システムを用いて、臨床検査値、併用薬等について評価を行う。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 部署：薬剤部 担当者：八木 達也 TEL：053-453 FAX：053-435-2764 E-mail：yagi5922@hama-med.ac.jp</p>